



夜空に新たな発見 葛巻の星空を学ぶ

「くずまき 夏の星空観察会」は9月2日、森のこだま館で親子連れなど約50人が参加して行われました。

講師は、当町で中学校の理科教員としての勤務経験のある齊藤政宏さん（滝沢市）。あいにくの曇り空のため、スクリーンに葛巻で撮影した星空などを映し出して夏の夜空を説明しました。

参加した村木亜衣ちゃん(葛巻小3年)は「北斗七星が面白かった。今度は、外で望遠鏡を使って見てみたいです」と目を輝かせていました。

スクリーンを使って葛巻の星空を説明する齊藤政宏さん(円内)と参加者の皆さん



新葛巻病院の引っ越し 葛巻中3年がお手伝い

9月2日、葛巻中学校（三浦裕明校長・生徒64人）の3年生とその保護者、約50人が葛巻病院の引っ越しを手伝いました。

作業の前に佐々木崇名誉院長が「皆さんの手で新しい病院をつくってほしい」とあいさつ。その後、生徒たちは職員の指示で、イスなどの荷物を新病院へ運び入れました。

作業後は新病院を見学。漆絵を鑑賞したり足湯を楽しんだり、充実した一日を過ごしたようでした。

旧病院から荷物を運び出す葛巻中3年の生徒とその保護者たち

江小で音楽鑑賞会 美しい歌声を楽しむ

9月8日、江刈地区の小中学生ら約100人が集まり、江刈キャンパス音楽鑑賞会が江刈小学校（金沢卓司校長・児童30人）で開催されました。

慶應義塾大学のアカペラグループ「デモクラッツ」のメンバー7人が同校を訪問。馴染みのある曲を披露し、子どもたちはテンポよく手拍子していました。

児童を代表して、村田凜ちゃん（江刈小6年）が「素晴らしい演奏を聞かせてくださり、とてもうれしかったです」とお礼の言葉を述べました。



慶應義塾大学のアカペラグループ「デモクラッツ」の美しい歌声を鑑賞する江刈地区の小中学生たち

森林組合設立50周年 さらなる発展を誓う

町森林組合（中崎和久組合長）の設立50周年記念式典は9月2日、ふれあい宿舎グリーンテージで組合員や林業関係者ら約200人が出席し行われました。

中崎組合長は「森の豊かさ、自然の大切さを環境教育や体験教育を通じ、子どもたちや未来のためにしっかりと伝えていくことが責務。健康で美しい森を育てていくことを誓います」と式辞。出席者たちは町の基幹産業である林業のさらなる発展を誓い、50年の節目を祝いました。



森林組合の設立50周年を記念してあいさつする中崎和久組合長と出席者たち

第3中隊の防災訓練 体験で意識を高める

9月10日、町総合防災訓練は小田民俗資料館（旧小田小学校）とその周辺で行われ、町消防団や婦人消防協力隊、小田、垂柳、田野の自主防災隊など約100人が参加。吹き出しや煙体験、初期消火の訓練のほか車両を使用しての救出訓練や土砂救出訓練など、より現実に近い災害現場を想定して行われました。

参加者たちは、一つ一つの対応の仕方を実践的な訓練を通じて確認することで、防災意識を高めたようでした。



今回初めて取り入れた「避難所開設訓練」の様子



声を掛け合いながら試合を楽しむ参加者たち

バレーボールで交流 一進一退の好ゲーム

町家庭婦人バレーボール親善大会は9月3日、社会体育館で約30人が参加して行われ、選手らはお互いに声を掛け合いながら、一進一退の好ゲームを繰り広げました。

接戦を勝ち進み優勝した、どんぞこチームの田向サナさん（73歳・平船）は「何もかにもこわかった（疲れた）。膝も足首も痛いけど、みんなと一緒に笑ったり汗をかいて、とても気持ち良かった」と、汗を拭いながらすがすがしい笑顔を見せていました。